

# 少年センターだより



- ☆ 毎月1日は『少年の日』 育て心豊かにたくましく!
- ☆ 毎月第3日曜日は『家庭の日』 咲かせよう明るい会話、家族の輪

## 5月30日(水) 春の自転車マナーアップ運動 実施

昨年に引き続き、今年度も、大村市少年補導委員や町内会長会連合会、保護司会や大村地区警察補導員などの関係機関、そして各学校の教職員の生徒会や大村警察署にご協力いただきながら「大村市 春の自転車マナーアップ運動」を実施し、交通安全に対する意識向上活動に取り組みました。

朝(7:30~8:30)にもかかわらず、大村高校・大村工業高校・向陽高校の校門付近に、約120名の方々が集結し、「おはようございます。」の挨拶を笑顔で返す時間帯でした。

自転車を使用する子ども達が**正しい交通ルールを守る**ことに努め、それを温かく見守るわれわれ大人が、**マナーを守って生活する姿勢を示すことが大切だ**と感じるような、貴重な経験となりました。



## 6月3日(日) 大村市内小学校運動会 (中央小・富の原小・松原小)

絶好の運動会日和となりました。中央小ではプラカードを先頭に元気に行進ができました。はじめの体操では児童代表をお手本にみんなでがんばりました。



県下でも在籍児童数が多い大規模な富の原小では、「がむしゃらにつっ走れ」や「GO! GO! 120m」などバラエティに富む競技ネーミングで元気いっぱいな運動会でした。大人数のため待つ時間が長かったのですが、演技前の「順番をまつ」態度がすばらしかったです。児童は、ためたエネルギーを笑顔にかえ、みんなが輝いていました。




最後に伺った松原小では、コミュニティスクールの特性を生かし、児童・先生・保護者・地域が一体となった運動会でした。なかでも「三世代かけっこ」では、小学生・親・祖父母がともに手をつないでゴールする姿は、まさに松原小運動会の大会スローガンである「みんなが**主役だ**」を体現しておられました。



運動会の実施に向けて、雨のため、計画通りに進まなかった部分をあつたのではないのでしょうか。しかし、児童のチャレンジに、先生方の励ましに、保護者や地域の方々の温かさになれることができました。楽しい1日となりました。ありがとうございました。

## 7月は青少年の非行・被害防止全国強調月間です

各地区・校区健全協と協力して非行・事故防止キャラバン(広報)を実施します。

7/2(月) 放虎原小校区 15:00～  鈴田地区 18:30～	7/9(月) 三城小校区 15:00～  大村小校区 17:30	7/10(火) 中央小校区 15:00～  萱瀬地区 17:30～	7/11(水) 三浦地区 18:00～  	7/12(木) 富の原小校区 15:00～  
<b>地域みんなで、子ども達の 安全を見守りましょう！</b>			7/19(木) 旭が丘小校区 13:30～  福重地区 18:00～	7/23(月) 竹松小校区 17:00～  

### ＜連載コラム＞

「夢や目標」「いきがい」って、誰もが結構身近にあるのではないのでしょうか。自分は、「何にも得意・特技や取り柄がないから・・・」「もうこの年齢になって・・・」と考える人も少なくないと思います。

しかし、目の前にある「やりたいこと」「興味があること」の先に、自分なりの「夢や目標」、さらには「新しい未知の世界」があるかもしれません。

もちろん、その道を究めたり、夢に向かって邁進している方々のそこに至るまでの努力と苦労は、並大抵のことではなかったはず。「気づいてみたら、その世界にいた」「やりたいことのために、言葉には表せないほどの努力を重ねてきた」「一つの道を、ただひたすら続けてきた」「趣味が講じて」「誰にほめられなくても、認められなくてもいい。このことがやりたいから、好きだから」と、きっかけは人それぞれだと思います。

幼かった頃、親や家族や先生に「〇〇ができたよ」「何々を読んだよ」と伝え、「すごいね」「どんな本を読んだの・・・その先どうなったの・・・」と励まされたり、聞いてもらったりしたことから、興味を持って努力したり続けたりしている間に「得意・特技」につながっていった人もきっといるはず。

「誰もが注目するであろう夢」「自分なりの夢」「一つのことをなし遂げるためのステップとしての目標」「自分が満足できること」・・・本当に、その人様々だと思います。いずれにせよ、なにかを「しようとした」「始めた」から、興味や意欲がふくらみ、周囲の支えを得ながら「次なる目標や夢へと進み歩んできた(いく)」ことに間違いありません。

最近、「どうせ自分は」「べつに・・・」という言葉を目にする場合があります。そんな時、「どうせ・・・」「今さら」の中に、少しでも「～したい」という気持ちがあるのなら、まず「やりたいことや目の前にあることをやってみようよ!」と「自らにも喚起している」私がいまいます。

＜ひびK・I＞

少年センターは青少年に関する(健全育成・補導・不登校・メディアなど)相談に対応します。

電話①53-1020(携帯可) ②0800-200-2001(携帯不可)

Eメール相談:kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp